



檜山地本通信

第15号 2011年8月8日 発行

発行 自治労北海道檜山地方本部 TEL0139-54-2012 fax0139-54-2010

江差町職労、全道大会へ出場



功労賞を受け取る田畑主将
(8月5日)

8月5日午後3時から、第45回全道自治体職員等野球選手権全道優勝大会の開会式が、北斗市かなでーるで開催されました。試合は翌6日から行われ、檜山を代表する江差町職労を含め、全28チームが出場しました。

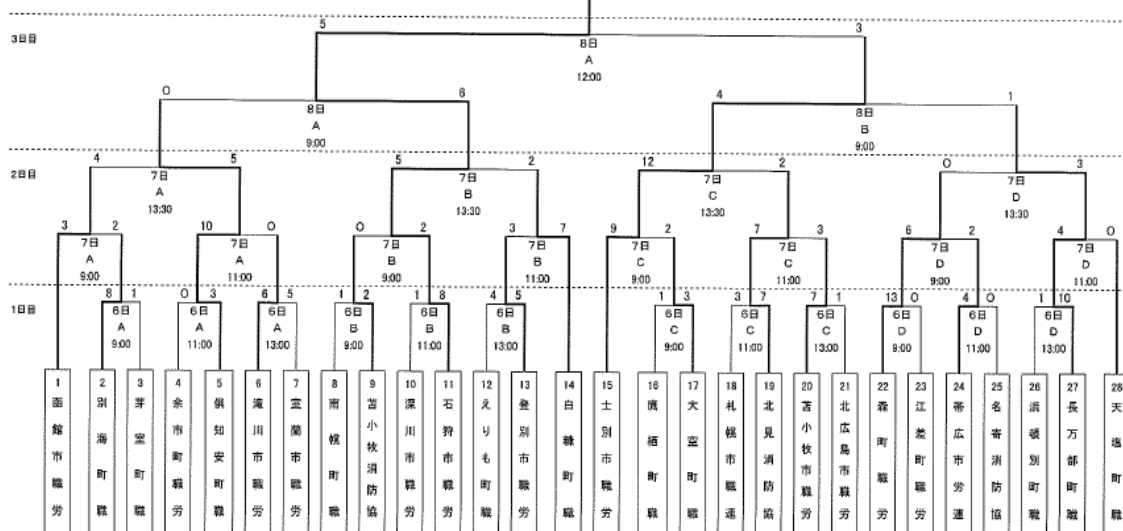
抽選の結果、江差町職労は一回戦で渡島地方本部の森町職労と対戦し、残念ながら0対13で完敗しました。

しかし、今大会の出場により全道大会へ通算15回出場したとして功労賞を受賞しました。

第45回全道自治体職員等野球選手権全道優勝大会組み合わせ

A 函館オーシャンスタジアム	函館市千代台町22-26
B 函館市西梧楼野球場	函館市西梧楼町252-27
C 函館市南茅部運動広場野球場	函館市川汲町1657
D 北斗市運動公園野球場	北斗市押上1丁目3-1

石狩市職労



石狩市職労が初優勝し、第45回全道優勝大会は幕を閉じました (8月8日)

平和の火リレー 管内を走破



今年、反核平和の火リレーの前夜祭として、リレー出発の前日の7月29日（金）に、江差町地域振興センターにおいて、「反核平和の夕べ」が開かれまし

た。実際にリレーへ参加する、自治労檜山地本青年婦人部の組合員を中心に、自治労からは22人が参加しました。他の産別もあわせると合計32人が結集しました。

全体で、道本部青年部中村副部長（八雲町職労）による講演を聴いて、反核平和に対する考えを深めました。

翌30日には、「第24回

反核平和の火リレー」として、檜山管内奥尻町へ渡り、平和の火リレーをつなぎました。8月1日には上ノ国町をスタートし、江差町、厚沢部町、乙部町、旧熊石町、旧北檜山町とリレーを続け、最後に今金町役場から今金小学校まで走り、解散となりました。

リレー走者は、主に自治労青年婦人部で担いましたが、総勢40人（うち

檜山地本各単組・総支部36人）が走者として参加していただきました。ご参加いただいたみなさま、本当にお疲れさまでした。

各単組・総支部の皆さんの手によって、平和の火が結ばれたことで、気持ちが一つとなり、平和を希求する心が一層強まったことと思います。



7月30日平和の火リレー（奥尻町）

檜山地方本部 当面のスケジュール

（8月8日現在）

8月10日（水）	人勤期第一次全国統一行動日（時間外職場集会実施）	9月18日（日）	さようなら原発1000万人アクション in 北海道（札幌市）
19日（金）	道本部第4回拡大闘争委員会（札幌市）	19日（月）	9・19さようなら原発全国集会（東京都）
24日（水）	第83回自治労中央本部定期大会（～26日（金）、長野県長野市）	23日（金）	第4回衆議院議員おおさか誠二政経セミナー（函館市）
9月3日（土）	道南医療ナースアクション（せたな町）	29日（木）	道本部第52回定期大会（～30日（金）、札幌市）
12日（月）	地本専従者会議（帯広市）	10月8日（土）	第2回食と環境まつり（函館市）

編集後記

昨年の7月27日に、私も人勤期闘争第2次中央行動へ参加してきましたが、例年この時期は人勤期闘争真っ只中の時期です。しかし今年、東日本大震災の影響により、今年の人事院勧告の前段の民間調査が、6月24日から8月10日までと、例年と比べ、およそ2カ月遅れとなつてるところから、人勤期闘争も例年とは様相を異としております。そもそも人事院勧告が出されるのかどうかということも見極めなければなりません。自治労本部の立場としては、今年5月23日、国家公務員給与削減の関係で、自律的労使関係制度の先取りという形で、政府と公務員連絡会が合意した経過があるので、官民格差に基づく勧告は行わせないと基本姿勢にあります。一方翻って、われわれ地方公務員は、国の人事院勧告を最低基準とし、参考としながら労使交渉による賃金確定闘争を決着させなければなりません。このことから、地方公務員としては、国家公務員給与削減の影響を遮り、削減のない給与額を基本としながら当局交渉を進める必要があります。

差し当たって、8月9日に公務員連絡会は人事院総裁宛要求提出、翌10日第一次全国統一行動として時間外職場集会開催を提起しておりますので、取り組みの推進のほうをお願いします。

（佐野）